第１号 院友大分

発　行
國學院大學院友会大分県支部
発行責任者　支部長 高司信太郎
編集責任者　事務局 紀田　兼宣
（金鷹山若宮八幡社宮司）

〒873-0004 杵築市大字宮司336番地
電 話　0978－62－3148
FAX　0978－69－7035
E-mail : info@kintakayama.com
公式 HP 金鷹山　若宮八幡社　検索

会報誌をお読みの皆様へ

この度、國學院大學院友会大分県支部の会報誌『院友大分』を発行する運びとなりました。昨年来よりの新型コロナウイルス禍により、院友各位が一堂に会する機会を奪われた現況を鑑みますと共に、以前より会報誌を発行する旨のご意見も出されておりましたことを受けて、創刊の第１号を茲にお届け致しますので、ご高覧を賜りますれば洵に幸甚に存じ上げる次第にございます。

大分県支部の皆さまへ



一般財団法人 國學院大學院友会
会長 吉田（よしだ） 茂穂（しげほ）
（73政・74神専攻　鎌倉・鶴岡八幡宮宮司）

大分県支部会報創刊、おめでとうございます。國學院大學での思い出、母校への想いをお互いの結び目として、広く楽しく号が進みますことを祈念申し上げます。

世界中を席巻している新型コロナウイルス感染症。昨今では変異株も広がりを見せ、先行きが見えない毎日です。大きな災害の爪痕も、各地には未だ深く残っております。一日も早い恙無き日常を、切に切に望むものであります。

毎年の支部総会で、集い合い、語り合い、一献酌み交わしながら学生時代に戻ることは、同窓会の要でありました。大きな声で校歌を歌い、後輩の活躍に一喜一憂する。このひと時は自分自身へのエールでもありました。コロナ禍の安全安心は三密を避けることですが、その三密が同窓会の醍醐味でもありました。どのような活動が今後できるのか、皆さんと一緒に工夫してまいりたいと思います。

令和３年３月21日（日）に、私どもは第１２９期の新院友２，５４４名を迎えました。大雨暴風、春の嵐となったこの日、港区高輪のグランドプリンスホテル新高輪「飛天」を会場に、学生のみの参加で、学部ごとの４部構成で行われましたが、私にとっても忘れられない一日となりました。国歌も校歌も、司会者からの「心の中でご斉唱ください」という言葉に従って、曲が流れる中、私も壇上で起立をして、心の中で斉唱しました。ただ耳で聴くのではなく心の中で歌うということは初めてでしたが、こんなにも深く染入るものだとは思いませんでした。大きな声を出して歌っていたときには思いもしない様々なことが、次々と心に溢れ出てきました。彼らのこの一年のこと、ここに来場できないご家族のこと、自分たちの卒業時のこと、院友であること、誇り、実に多くのことが思いがけずに私の気持ちを波立たせて、目頭が熱くなりました。マスク越しに口を動かしている学生もおりました。思い出と内側で向き合っているからでしょうか、この日の４回の校歌は、忘れられないものとなりました。校歌の重さを改めて思いました。

コロナ禍の校歌斉唱は、いつもとは異なった一体感や想いを運んでくれました。ともに連携する気持ちを共有する、その工夫は身近にあるのかもしれません。

お祝いといたします。

『院友大分』の発行を祝う



國學院大學院友会　大分県支部
支部長　髙司（たかつかさ） 信太郎（しんたろう）
（79法・80神専攻）

母校國學院大學が創立１３９年を迎え、院友会が発足より、１３４年を超えて歩みを進めております。当支部においても、同じ志をもって、院友諸氏の多大なご理解、ご協力を賜り、支部活動が進められておりますことを深く感謝致しております。

さらにこの度は「院友大分」が発行されることになりましたことは、真に有意義です。

有志の願いどおり、大いにご利用賜り、いよいよ支部活動の発展と院友会本部、國學院大學の興隆に寄与できることを祈念致しております。

数年前より、支部役員会の席で、支部活動に会報誌を編集し、大学や院友会本部の出来ごと、支部活動記事をお伝えし、日頃交流のない院友の声や活動もとりあげ、紙面で親睦をはかることも大切だとのご意見を頂いておりました。

今日の様な新型コロナウイルス禍の中、院友の皆様との交流の絶えた今、時期を得て、編集の同志が集まり、「院友大分」が発行されることになりましたことは、真に有意義です。

有志の願いどおり、大いにご利用賜り、いよいよ支部活動の発展と院友会本部、國學院大學の興隆に寄与できることを祈念致しております。

一般財団法人 國學院大學院友会 令和３年度 支部活動実施に関するガイドライン（抜粋）

本ガイドラインは、令和２年から全世界に新型コロナウイルスが蔓延したことから、院友の繋がりを第一とする本会の支部等活動実施の際に、関係者全員が安心して集えること、そして定款の目的を達成するために必要な対策を整理したものです。マスク着用の徹底・手指消毒の徹底・ソーシャルディスタンス（社会的距離）等、既に皆さまご承知のこととは思いますが、役員会・支部総会等の開催、一般公開講演会等開催の場合を想定して作成しておりますので、ぜひ参考になさってください。支部での事業実施につきましては、各都道府県での状況に応じて十分ご検討くださいますようお願い致します。

また、『緊急事態宣言発出』中、又は『まん延防止等重点措置適用』中は開催の自粛をお願い致します。

なお本ガイドラインの作成には内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室が示している業種ごとの感染拡大予防ガイドライン等を参考にしております。（以下抜粋）

《支部総会・役員会開催準備》

●会場の選定について
感染対策が整っているかどうかを確認

●書面決議について（支部総会）
感染防止の観点から、状況に応じて書面決議も検討する

●席次について
出席者の確定後、席次を検討する
感染者発生の場合を想定して指定席とする

《当日》

●受付について
参加者と一定の距離が保てるように準備する

●会議開催中の注意
開会後も感染に注意した運営を行う

●飲食について
特に、アルコールが入ると様々な要因により感染のリスクが大きくなると言われていることから、長時間の飲食は控える

《終了後》

●感染者が確認されたことを想定した事後の処理
保健所等行政機関へ、参加者の個人情報を提供することの準備

●感染者が確認された場合の対応について
対応が必要となるので各機関と再確認

《令和３年度各支部総会への大学代表者及び院友会本部代表者の参加について》

これまでの支部総会には、それぞれ１名が参加させていただいておりましたが、当該年度は新型コロナウイルス感染拡大防止策の一つとして、状況によりいずれか１名が参加し、両方の報告を行うという体制で準備を進めております。

なお、参加させていただく人選につきましては、大学側と院友会で協議の上決定致しますので、予めご了承下さい。

前記する國學院大學院友会本部から提出されたガイドラインに基づき、また他支部の動向を調べてみますと、役員総会をもって総会とする地区が多々あり、大分県支部と致しましても、会務・会計のご説明やご承認を設けたいとのことから役員総会を以て、令和３年度の支部総会に替えさせて戴くことと相成りました事と茲にご報告申し上げます。

昨年度に続き、今年度も院友各位が一堂に会しての支部総会が開催できませんこと、真に忸怩たる思いではありますが、大分県支部会員各位に於かれましては、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げる次第にございます。

國學院大學の現状について『オール國學院で未来を創造』

学生の姿が見えないキャンパス、人もまばらな渋谷駅前のスクランブル交差点。昨年４月は、今までに経験したことの無い緊張感が漂う中で新年度がスタートした。「新型コロナウイルス」、この未知のウイルスに本学としてどう立ち向かうのか。先が読めない状況の中で学生教職員の模索の日々が始まった。

予定していた令和２年度入学式は中止。政府の緊急事態宣言を受けて、４月９日から渋谷・たまプラーザ両キャンパスも閉鎖し、５月７日からはオンライン形式での授業を行った。本学では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける学生のために、緊急修学支援費の給付と、修学支援特別貸付金制度を制定し、アルバイト収入の減少や、急な出費を強いられた学生の支援を行った。

実習系授業が多い神道文化学部でも対応に追われた。祭式教室などを使った前期の授業は全てオンライン型授業へ移行。前期対面授業の代替として、補修講義を夏季休暇中にキャンパス内で実施した。また、指定実習Ⅰは宿泊を伴わない形で実施した。11月からは対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッド型の授業を展開。夏季に中止となった指定実習Ⅱの代替として、冬季休暇を活用して行った。現在は全学部とも、対面型授業の比率を高め、感染拡大状況を注意深く見守りながら、コロナ前の環境に戻す努力を行っている。

このような状況の中、１月に開催された第97回東京箱根間往復大学駅伝競走では、本学らしい粘り強さで総合９位を獲得。次回大会のシード権を獲得した。往路前半では10位台に沈んだ本学は、中盤以降徐々に順位を上げ、エースが集う山登りの５区では殿地琢朗選手（健体３・当時）が上位を猛追。往路終了時点で９位となった。翌日の復路でもシード圏内を維持し大手町のゴールテープを切った。

本学では、創立１２０周年を迎えた平成14年に、中期経営計画『21世紀研究教育計画』を策定した。現在は第４次計画が進行中で「伝統と創造・個性と共生・地域性と国際性」という「三つの慮（おも）い」を掲げ、本学の建学の精神に則った國學院ブランドの確立と強化を図っている。

現在は、本学６番目の学部となる『観光学部観光まちづくり学科（予定）』の開設を目指し、文部科学省に設置認可の申請を行っている。同学部は、地域を主体とした観光や交流を促すとともに、活力あふれる地域を実現するための教育を行う予定で、「観光まちづくり」を体現する人材の養成を目的としている。令和４年４月、たまプラーザキャンパスでの開講を目指し、各種準備作業を行っている。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響を受ける本学に対し、全国の院友から励ましのお言葉や、支援に関するお問い合わせを多く頂戴した。皆様から応援を頂いたおかげで、今年の卒業式と入学式は無事に挙行することができた。院友の方々にはこの場を借りてお礼申し上げたい。


渋谷キャンパス全景


閑散とした渋谷スクランブル交差点（昨年の8月）


学生の居ない渋谷キャンパス（昨年の10月）


夏季休暇中に行われた指定実習の補講


マスクをつける本学マスコットのこくぴょん

別府で古典芸能を観る会

第１回「別府で古典芸能を観る会」が開催されました。

令和２年11月28日（土）、新型コロナウイルス禍の中でしたが、通称「芝居小屋」と呼ばれる別府市コミュニティセンターで、三密対策の中、予想を超える入場者がありました。

主催は院友の矢野大和氏を始め、院友有志でした。出演者は、院友の真打「入船亭扇辰」師匠の古典落語と花柳流師範として活躍中の「花柳登己門」師匠の舞踊で、素晴らしい感激の芸能でした。

今年11月に第２回「別府で古典芸能を観る会」が予定されております。是非来年も開催を、とのリクエストにお応えしたものです。ぜひお越し下さい。開催を紙面でお知らせ致します。



院友大分県支部会員の活動をご紹介します

全国の講演会で引っ張りだこ。ここ15年間で全国5,000箇所をまわったという佐伯市宇目出身の口演家・矢野大和さん。その話題は多岐に亘ります。

誰が見てなくても、「お天道様が見ている」、悪いことができない日本人、横綱の化粧まわしや塩を撒く仕切り、災害を悟っている行為、トイレから出たら手を洗う。

このように神社の宮司が本職の矢野さんは、「日本人の生活の中に溶け込んでいるその精神そのものが、神社神道の本筋であること」として、判りやすく各地の皆さんに口演を届けています。

番組では、矢野さんと同じく大分県内の宮司をゲストに迎え、今の時代を生きる上で大切な心を、「笑い」を交えてお届けします。（番組ＨＰより）



ＯＢＳラジオ「矢野大和の宮司と対話 日本のこころ」
〈毎週金曜日　午前10時35分～55分（20分間）〉

大分県支部からの激励
お二人の方からご寄稿を賜りました

回顧と激励

顧問　野崎　邦康（71文）

支部会報の発刊まことに、おめでとうございます。

世の中は新型コロナウイルス感染拡大で震撼としておりますが、一日も早く収束してくれるのを願っております。

私が院友会大分県支部会に入会したのが昭和38年ですから随分長い年月が経ちました。

当時は、津久見高校の校長深田光先生が支部長をされており、高教研国語部会の総会当日の夕刻から、勢家町にあった「魚清」で支部総会が開催されていました。当時は院友会本部から、金田一京助先生はじめ多くの先生方の著書や色紙、短冊などを抽選で参加者に配布していたのを思い出します。県内の教員、神社関係ほかの先輩方に囲まれて、公私にわたりご指導をいただきました。私が大分商業高校に勤務していた頃、事務局員を命じられ、宮本邦彦事務局長のお手伝いをするようになり、その後事務局長、副支部長、支部長となり34年間支部のお世話をし、高司信太郎現支部長さんに後をお願いした次第です。

さて、本学で学ぶ在校生の皆さん、今世の中はコロナウイルス感染防止のため、対面講義が受けられず、苦しい毎日が続いていると思います。

やがて収束し、再び明るい学園生活が戻ると思います。

國學院の野球部をはじめ、柔道部、陸上競技部ほか各部の活躍はめざましいものがあります。中でも陸上競技部の大学箱根駅伝大会は近年すばらしい成績で盛りあがっており、全国の院友が正月にはテレビにかじりついて応援しております。

皆さん、全国には多数の院友があらゆる分野で活躍しております。やがて実社会で羽ばたかれる日がくると思います。その際は、ぜひ院友支部会に入会して新風を吹き込んでください。皆様方の将来のご活躍と支部会の益々のご発展をご祈念申し上げます。

勢いのある大河へと

大分市教育委員会
前教育長　三浦　享二

「行く川の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたはかつ消え、かつ結びて、久しく止まるためしなし。」

これは、今から約８００年前、京都出身の鴨長明の随筆「方丈記」の書き出しです。

今年で、東日本大震災からちょうど10年が経ちました。大震災発生当時、方丈記に注目が集まったそうです。

それは、方丈記が当時の震災を細かく描写した災害ルポタージュだったからでした。

さて、書き出し部分は、流れゆく川の水は絶えることはないけれど、その水は決して今流れた水ではなく、次から次へと続く新しい水であるという意味ですが、かつて、そこに水が流れ、川ができた。そして、そこに新しい次の水が流れる。その水は川をつくった水とつながった新しい水が脈々と続いているということでしょう。

これは、まさに私たち院友会の流れと同じではないでしょうか。かつて我々の先輩諸氏が道を拓き、そして、その道を新しい同輩が続く。

この院友会大分県支部創設以来、脈々と続いた流れは絶えることなく、次から次にと新しい水を流そうとしています。

院友会の皆様、これからも先人の声に耳を傾け、大志をもって望めば必ずや後の流れも引き寄せる勢いのある大河になると信じております。

國學院大學院友会　大分県支部役員名簿

	役職名	氏名	卒期	備考
顧問	顧問	野崎邦康	71	
		工藤恒彦	75	新任
役員	支部長	髙司信太郎	79	
	副支部長	塩月洋二	87	
		宮本隆之	91	
		萱島祥彦	86	新任
	監事	佐藤紘一郎	71	
		阿部健郎	82	
		三井俊夫	82	
事務局	事務局長	神田毅	104	
	事務局次長	横山田鶴子	86	
		紀田兼宣	92	新任
	幹事	長山義徳	79	
		菊池俊道	95	
		原勝海	104	
		園田吉治	106	
	会計	後藤尚子	96	

地区	氏名	卒期	備考	地区	氏名	卒期	備考
地区役員 中津	清水勝彦	96		日田	橋本敦	93	
宇佐	丸山信一	103		大野	左保光康	90	
高田	山本龍司	90		竹田	上島弘二	75	
国東	岐部準次	85	新任	臼杵	佐藤景郎	96	
別府	河野景光	92		佐伯	矢野大和	89	
杵日	小石護久	88		大分	事務局		



祝　院友大分　創刊

世界農業遺産　国東半島

日本酒　西の関

Nishinoseki

萱島酒造有限会社
代表取締役社長
萱島　進

萱島酒造有限会社
顧問
萱島　祥彦
（法86）



ともに生き！ともに喜ぶ

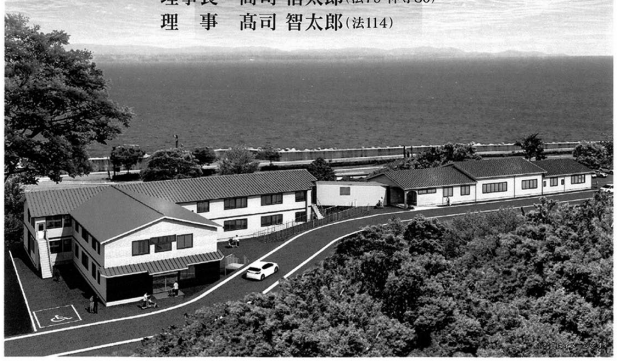
碧い海、蒼い空、青い木々
に包まれて…医療と福祉の街。

Hot Spring of Shiraume

別府湾リゾートホーム

医療対応型有料老人ホーム（訪問看護利用）

理事長　高司 信太郎（法79 神専80）
理　事　高司 智太郎（法114）



一般社団法人 青山医療福祉協会
別府湾リゾートホーム tel.080-1537-4907（担当者）
〒874-0818 別府市浜脇山家 12組
ホーム tel.0977-27-1222　デイサービス tel.0977-27-1333　fax.0977-27-1334（共通）



【無縁社会をなくす運動】推進

私たちの理念は〝家族〟になること！

白梅の花
住宅型有料老人ホーム

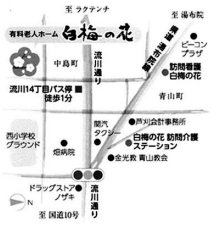
●入居時に経済的にお困りの方の相談もお受けしています。

理事長　高司 信太郎（法79 神専80）
園　長　高司 信一郎（法109 神専110）

医　療　＊主治医はそのままでも構いません。
提携医院／原嶋内科医院（往診あり）
在宅酸素　透析　認知症　胃ろう　インシュリン　ほか

受入可能な方　＊原則、要介護の方の施設です。
生活保護
短期利用 体験入居（3,000円／日）

静かな住宅地の中にあります。





特定非営利活動法人 青山白梅会
住宅型有料老人ホーム 白梅の花
〒874-0901 別府市中島町11番25号 Tel 0977-24-2000

受付はいつでもOK!
お気軽に! お役に立ちます。
080-1537-4907
（担当／施設長）

ご希望があれば老人ホーム葬（軽費）いたします。＊火葬・霊柩車などの諸経費実費は別途必要になります。

塗料は花です 色で町を明るくしましょう

日本一の
おんせん県おおいた
味力（みりょく）も満載

塗り替えのご相談・施工お任せ下さい
有限会社 安部塗料店

代表取締役 佐藤 紘一郎（経71）

〒870-0925 大分市大字下郡字尾西1652-4
TEL097-569-6331　FAX097-569-6394
E-mail abe-toryoten@snow.ocn.ne.jp

宝石と時計の店
RAFFINE 三井

三井 俊夫（文82）　大分／ガレリア竹町ドーム広場 TEL097-532-4964　竹町Pご利用ください。

ONIX
有限会社 明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ

有限会社 DAIHATSU ダイハツピット店
明豊マイカーセンター
オニキス大分地区正規加盟店
大分メンバーショップ
大分県大分市東津留2-9-22（花津留バス停前）
■営業時間：AM10:00～PM7:00　■定休日：火曜日
0120-81-3322